

ピース・ウイング長崎

平和のあゆみ

(令和5年度 事業報告)



「原爆資料館」電停に設置された電照看板

公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
みんなで平和の輪を広げましょう！	
設立の意義	
沿革	
事業	
会員制度	
組織図	
会員制度について	2
寄附金について	2
会費及び寄附金の税額控除について	3
I 平和推進事業	
1 広報事業	4
2 啓発事業	5
3 継承事業	7
4 育成事業	9
II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
III 収益事業	14
理事・評議員・監事について	14
公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き	15

※当協会の愛称「ピース・ウイング長崎」は広報紙や全国公募ガイドなどを通して呼びかけ、決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



公益財団法人 長崎平和推進協会

みんなで平和の輪を
広げましょう！

設立の意義

原子爆弾の惨禍を身をもって体験した長崎市民は、国境を越え、人種を超え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。

全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。
(昭和59年 設立趣意書から掲載)

沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があることから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望まれます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開してきました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともいわれる公益法人(財団法人・社団法人)の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

事業 ※定款から掲載

- (1) 平和に関する諸問題の調査研究
- (2) 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- (3) 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- (4) 国際平和機関との連携交流
- (5) 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- (6) 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- (7) 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- (8) 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要な事業

会員制度

(令和6年3月31日現在)

会費	維持会員(個人)	年会費	3,000円以上
	賛助会員(団体・個人)	年会費	1口10,000円
	学生会員	年会費	無料

(会員についての詳細は2ページに掲載)

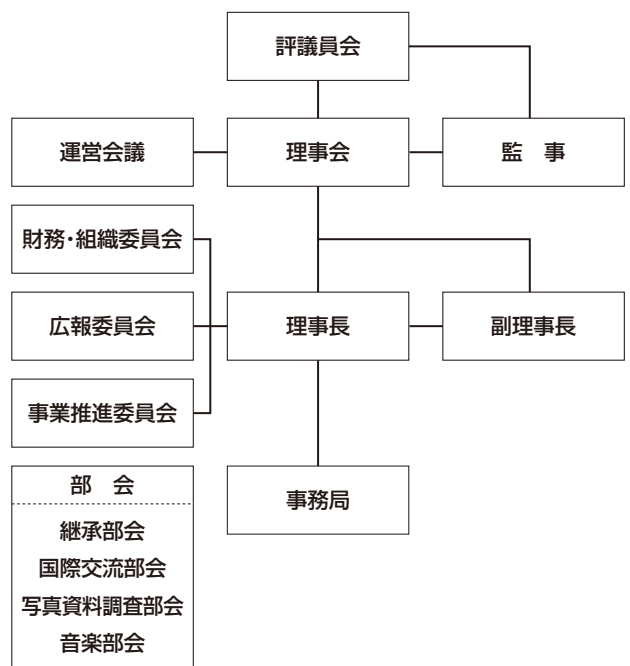
会員による部会活動

会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに円滑な事業遂行に寄与する。

- ①継承部会
- ②国際交流部会
- ③写真資料調査部会
- ④音楽部会

組織図

(令和6年4月1日現在)





会員制度について

核兵器の恐ろしさや平和の尊さを次の世代に伝えていくために、協会では様々な平和への取り組みを行っています。この活動は、長崎市からの補助金等の他、会員の皆様からいただいた会費に支えられています。

会員制度には、個人の方を対象とする「維持会員」、団体・個人の方を対象とする「賛助会員」、会費無料の「学生会員」の3つがあります。会員募集は随時行っており、協会ウェブサイトでの案内の他、イベント等でのチラシ・リーフレット配布等で周知活動を行っています。

会費については令和5年度よりコンビニエンスストアでのお支払い、協会ウェブサイトからのクレジットカード決済ができるようになりました。

【会員制度と登録者数（令和6年3月31日現在）】

会員制度	年会費	登録者数
維持会員	3,000円以上	1,055
賛助会員	1口10,000円	175
学生会員	無料	45

※学生会員は令和5年4月1日から年会費無料



長崎平和推進協会シンボルマーク

平和のシンボル「はと」を、官と民を示す両手が受け止めている様子を表しています。

【会員特典】※学生会員にはエコバッグは送れません 会報「へいわ」はEメールで送ります

- 会員証とエコバッグ送付
- 会報「へいわ」、ブックレット「平和のあゆみ」送付
- 協会主催の講演会等への優先来場
- 書籍・オリジナル商品10%オフ（一部適用外）
- 長崎原爆資料館内「ピースカフェ」5%オフ
- 長崎の感動する中華料理店 寶來軒でのプチプレゼントサービス
- i+Land Nagasakiでの天然温泉大浴場+岩盤テラス利用料金を大人500円、小学生300円に割引（スパテマパーク利用時はいずれも+200円）
- Studio One Nagasakiでの証明写真50%オフ、記念撮影30%オフ
- 御菓子司 松貴堂での購入代金5%オフ
- (株) 龍屋本舗 園田真珠で販売している真珠全商品10%オフ



寄附金について

当協会では、平和関連事業に取り組んでいくために、広く皆様からの寄附金を募集しています。令和5年度より協会ウェブサイトからの手続き、クレジットカード決済ができるようになりました。

令和5年度は、下記の方々よりご寄附をいただきました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。



寄附金について詳しくはコチラ

令和5年度 寄附者一覧（敬称略・金額順）

- | | | |
|-------------------|------------------------|----------------|
| ・ 田村晶子500,000円 | ・ 廣佐古シヅヨ100,000円 | ・ 岡田郁代 50,000円 |
| ・ 牛久健康体操教室10,000円 | ・ 上西和紀10,000円 | ・ 北城祐二10,000円 |
| ・ 後藤俊一事務所10,000円 | ・ 白鳥純子10,000円 | ・ 山中弘幸10,000円 |
| ・ 一瀬正人5,000円 | ・ LIBEREALスガワユキト4,000円 | ・ 竹下淳也1,000円 |
| ・ 埜田悦子1,000円 | ・ 匿名寄附11件156,414円 | 【合計 877,414円】 |



賛助会員一覧（団体・法人 敬称略）

旭丘高校の教育を守る会／朝日地区民生委員児童委員協議会／(株)アルテック情報システム／(株)イケシタ工建／(株)イシマル／(株)イナヅマ電気工事／(株)岩永印刷所／岩屋地区民生委員児童委員協議会／(株)インテックス／(学)ヴィアートル学園 洛星中学校／(株)V・ファーレン長崎／AGメンテナンス(株)／(株)NSNプランニング／(株)NDKCOM／NBC情報システム(株)／(株)NBCソシア／(株)エビス堂／扇精光ホールディングス(株)／オックス総合リース(有)／オリエンタルビル管理(株)／オリエント産業(株) 長崎支店／(株)オリオン電防／核戦争防止国際医師会議 長崎県支部／核兵器廃絶・平和建設 長崎県民会議／勝山地区民生委員児童委員協議会／カトリック長崎大司教区／上長崎地区民生委員児童委員協議会／(株)かわち家／機電プラント工事(株)／(株)九州広告／(一財)九州電気保安協会／九州労働金庫／Q-bicソリューションズ(株)／崎陽電気(有)／協和機電工業(株)／(株)クイックプリント／(医)倉田醫院内科婦人科／(一財)クリーンながさき／(医)行清会 鋤先医院／KNT-CTホールディングス(株)／原水爆禁止長崎県協議会／原水爆禁止長崎県民会議／原爆被爆者特別養護ホーム かめだけ／光源寺／小神立神地区民生委員児童委員協議会／後藤俊一事務所／西部ガス労働組合 長崎支部／さかい酒舎／坂本地区民生委員児童委員協議会／(株)三工電機／(株)JR長崎シティ／自治労長崎市役所職員労働組合連合会／(株)事務機のミカドヤ／(株)ジャック・インターナショナル／(株)十八親和銀行／純心中学校・純心女子高等学校／常在寺／(株)城保安警備／情報労連長崎県協議会／昭和地区民生委員児童委員協議会／(株)昭和堂／新興善地区民生委員児童委員協議会／(株)親和電機商会／(株)スターライト／(有)正文社印刷所／SEVEN HEARTS／全国公益法人協会／銭座地区民生委員児童委員協議会／(株)大和総業／高尾地区民生委員児童委員協議会／たちばな信用金庫長崎中央支店／(株)龍屋本舗／(株)司コーポレーション／(株)ディープリंक／田園調布雙葉中学高等学校 学校行事部／土井首地区民生委員児童委員協議会／桃源寺／東武トップツアーズ(株) 長崎支店／(一社)東友会／磨屋地区民生委員児童委員協議会／(一財)長崎YMCA／(株)長崎映像社／(株)長崎ガードシステム／(株)長崎環境美化／(株)長崎銀行／長崎県映画センター／(一財)長崎県教育会／長崎県建設産業労働組合／(公財)長崎原子爆弾被爆者対策協議会／長崎県生活協同組合連合会／(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会／長崎原爆遺族会／長崎県被爆者手帳友の会／長崎県平和運動センター／(一社)長崎国際観光コンベンション協会／(株)長崎国際テレビ／長崎市管工業協同組合／(一財)長崎市勤労者サービスセンター／(福)長崎市社会福祉協議会／長崎市小学校校長会／(公社)長崎市シルバー人材センター／長崎市中学校校長会／長崎自動車(株)／(一社)長崎市保育会／長崎市役所従業員組合／長崎市役所職員生活協同組合／長崎商工会議所／(株)長崎消毒社／長崎市老人クラブ連合会／(株)長崎新聞社／(一社)長崎青年会議所／(一社)長崎青年協会／長崎西彼農業協同組合／長崎ダイヤモンドスタッフ(株)／長崎地区労働組合会議／長崎でじま青果(株)／長崎電化サービス社／長崎電気軌道(株)／(株)長崎ビジョン／(株)ながさきプレス／長崎放送(株)／(有)ナカノコーポレーション／滑石地区民生委員児童委員協議会／(株)日工／日本通運(株) 長崎支店／日本放送協会 長崎放送局／日本空調サービス(株) 九州支店／日本図書輸送(株) 福岡営業所／日本労働組合総連合会長崎県連合会／(株)橋本商会／(医)康仁会 林医院／(特非)ピースデポ／ピースポート／(株)日立ビルシステム／(一財)広島国際文化財団／(株)福広／(有)宝栄印刷／寶來軒／丸美産業(株)／三重地区民生委員児童委員協議会／ミライト(株)／(福)純心聖母会 恵の丘長崎原爆ホーム／山里地区民生委員児童委員協議会／(株)大和屋／(福)友愛会長崎リハビリテーション／(社福)基督教友愛館 友愛富士見町保育園

会費及び寄附金の税額控除について

当協会は特定公益増進法人に該当するため、協会会費・寄附金は、所得税・法人税等の税額控除の対象となります。確定申告時に、「会費領収証（振替払込請求書兼受領書）」または「寄附金領収書」とともに、当協会所管庁が発行した「税額控除に係る証明書」をご提出ください。

詳しくは、協会ウェブサイトをご覧ください。事務局までお尋ねください。



I 平和推進事業

1 広報事業

① 会報等の発行

【会報「へいわ」の発行（年4回）】 令和6年3月現在 181号発行

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌として会報「へいわ」を3か月おきに発行しています。

- 1回あたりの発行部数 2,300部（A4判 8ページ）



【ブックレット「平和のあゆみ」の発行（年1回）】

協会が行った事業の内容や1年間の出来事をまとめたブックレット「平和のあゆみ」を毎年6月に発行し、会員や関係各機関へ送付しています。

- 1回あたりの発行部数 1,700部（A4判 16ページ）



【情報BOXの発行（年8回）】 令和6年3月現在 279号発行

イベントの開催予定など最新情報の他、実施した行事の報告などを掲載した「情報BOX」を作成し、理事・監事・評議員・部会員などに送付しています。

- 1回あたりの発行部数 約150部（A4判 両面1ページ）



【協会会員入会案内リーフレットの作成】

協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員特典などを説明した「協会会員入会リーフレット」を作成し、会員拡大を図るためイベント等で配布しています。

② ホームページ等広報

【ウェブサイト】 令和5年4月1日リニューアル

協会の設立趣旨や事業概要などの紹介、被爆体験講話や平和案内人の申込方法の案内の他、会報「へいわ」・ブックレット「平和のあゆみ」などのバックナンバーを掲載しています。

令和5年度に「被爆体験講話予約システム」を改修し、ウェブ予約の利便性を向上させました。また同システムを活用することで、令和6年度から「家族・交流証言講話」の申し込みもウェブでできるようになりました。



協会ウェブサイト

【SNS等での情報発信】

LINE 協会イベントの案内、協会に関する最新情報、企画募集の告知などを発信

Instagram 青少年ピースボランティアのメンバーらが日頃の活動などを紹介

YouTube 被爆者証言映像「8月9日の記憶」、ピースボランティアによる「千羽鶴」合唱動画、平和案内人らによる碑めぐり動画などを公開

- LINE、Instagram、YouTubeの二次元コードは「裏表紙」に掲載しています。



被爆場所等で語る被爆証言映像「8月9日の記憶」



2 啓発事業

① 平和学習（被爆体験講話）の実施

長崎市内で平和学習に取り組む小中高校や団体などから依頼を受け、被爆者（継承部会員）が自らの被爆体験や平和の大切さをお話する「被爆体験講話」を実施しています。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、マスクをはずしての講話となりました。コロナ禍では国内に限定されていた修学旅行が海外にも行けるようになり、前年度よりも100件ほど少なくなりましたが、1,000件近くの被爆体験講話を実施することができました。



被爆体験講話の様子

被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
平成30年度	1,191
令和元年度	1,168
令和2年度	495
令和3年度	695
令和4年度	1,092
令和5年度	989

令和5年度 講話件数・受講人数 内訳

区 分	講話件数			受講人数
	全体	うち市内	オンライン	
小 学 校	426	45	0	34,758
中 学 校	294	18	3	40,014
高等学校	172	0	4	29,356
一 般	97	0	4	6,219
計	989	63	11	110,347

※表中の「うち市内」は、長崎市内の小学校・中学校・高校・一般の講話件数
 ※ピースネットの実績は、13ページをご覧ください。

【長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業】

長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」では、被爆者（継承部会員）が県内の小中学校や県内外の大学を訪れ、被爆体験をお話しています。コロナ禍以降オンラインでの講話が増えています。

県内市町（小中学生対象）

派遣市町	実施日	受講人数	派遣市町	実施日	受講人数
佐世保市	7月31日	70	西海市（オンライン）	7月18日	152
諫早市（オンライン）	7月11日（2回）	665	雲仙市（オンライン）	7月10日	59
大村市	7月7日	165	長与町（オンライン）	7月12日	583
平戸市（オンライン）	7月12日（2回）	345	時津町（オンライン）	6月26日	90
対馬市（オンライン）	7月19日	56	波佐見町	6月20日	158
五島市（オンライン）	6月28日 7月18日・28日	161			

県内外大学（留学生対象）

派遣大学	実施日	受講人数	派遣大学	実施日	受講人数
九州大学	7月15日	100	上智大学（オンライン）	11月22日	20
筑波大学（オンライン）	10月30日	20			



【被爆者証言ビデオ】

継承部会員の被爆場所や当時の自宅周辺などを訪れ、被爆前の生活や被爆直後の様子、家族の話、被爆後の暮らしなどを語る「被爆場所等で語る被爆証言8月9日の記憶」を作成しています。

このビデオは、平和学習を実施する学校・団体等へのDVD無料貸出の他、協会YouTubeで公開しています。

令和5年度 撮影者

森田 宏、三瀬 清一郎、市丸 彪、小峰 秀孝
(令和2年度からの累計：16人)



2 原爆被災写真パネル・DVDの貸出

修学旅行などの事前学習の他、写真展の開催などに役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVDを無料で貸し出しています。

令和4年度より、新しい写真パネル2種類6セットと、被爆者証言ビデオの貸し出しを開始しました。

令和5年度 写真パネル・DVD貸出実績

区 分	写真パネル	DVD	
	件数	件数	本数
小 学 校	3	6	15
中 学 校	2	18	39
高等学校	3	11	28
一般（自治体等）	15	20	29
計	23	55	111

※1回の貸出上限は、
写真パネル…1セット
DVD…3本まで
となっています。
事前の申し込みが必要です。

3 講演会等の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため、講演会を実施しています。また、長崎市の「平和の文化キャンペーン」に参加し、イベントを開催しました。

- 8月26日 「ナガサキの郵便配達」朗読と音楽で紡ぐ平和への想い
- 12月23日 Winter Ring a Bell Concert ～愛と平和を長崎から～
- 1月21日 ICAN事務局長 メリッサ・パーク氏 講演会

【平和の文化キャンペーン関連行事】

- 9月30日、10月21日、11月18日 ラウンジコンサート2023 「Music Garden Pray & Play」
- 11月3日～7日 森田孝子書道展「平和への願いを書きに託して」

4 国連軍縮週間「市民のつどい」

10月24日～30日の「国連軍縮週間」に合わせ、「市民のつどい」を開催しています。

原爆写真展示や折り鶴作り、平和への願いを書き込むエコ風船コーナー、ミニコンサート、二胡演奏などを行いました。また4年ぶりに戦時食コーナーを復活し、野草の天ぷらやすいとんなどの戦時食を紹介しました。その他、被爆3世の上奥まいこさんによるオリジナルコンサートやかわち家さんの平和紙芝居を上演し、改めて平和について考える機会になりました。



令和5年度 開催内容

開 催 日	10月28日 ※軍縮週間中の土曜日、世界平和祈念市民大行進に合わせて実施
場 所	長崎原爆資料館前階段下広場
コーナー	エコ風船、折り鶴、原爆写真パネル展示、ミニコンサート、戦時食試食、平和紙芝居など



3 継承事業（長崎市からの受託事業）

① 県外原爆・平和展

長崎県外の方々に、原爆の悲惨さや平和の大切さを知ってもらい、長崎市民の核兵器廃絶の願いを伝えることを目的に実施しています。

令和5年度は、京都府福知山市、東京都千代田区、埼玉県三郷市で開催しました。

展示だけでなく、被爆体験講話会や写真資料調査部会員による展示解説も行いました。



令和5年度 開催実績

京都府福知山市	7月26日～8月9日（556人来場）
東京都千代田区	8月1日～8月15日（811人来場）
埼玉県三郷市	8月3日～8月16日（4,141人来場）※2会場合計

② 語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）推進事業

被爆者の被爆体験を語り継ぐ「家族・交流証言者」を育成し、被爆体験の次世代への継承を推進します。令和5年度も「託したい方」と「受け継ぎたい方」を募り交流会を実施。聞き取りや講話原稿・資料作成等を支援する他、パソコン研修や話し方講座など様々な研修も実施しました。

派遣事業では長崎市内に派遣した他、毎月第2木曜日・第4日曜日に原爆資料館内での定期講話を実施しました。



令和5年度 実施状況

交流会：9月23日・24日（参加者：24人）
登録者：113人（講話可能者55人、研修者58人）
講話実施回数：126回（長崎市内）

③ 青少年ピースボランティア育成事業

中学生を除く15歳から30歳未満の青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動することにより、被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ります。

青少年ピースフォーラムの企画・運営や出前講座、平和関連イベントでのサポート役として活躍しています。

令和5年度は広島研修・福島研修や自主企画の学習会なども実施しました。



令和5年度 登録者数

130人（高校生 77人、大学生 39人、社会人 8人、その他 6人）



4 青少年ピースフォーラム

8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、地元長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで、平和意識の高揚を図ります。令和5年度は、台風6号の接近に伴い8日だけの開催となりましたが、8日の交流会は4年ぶりに開催しました。やむを得ず派遣を中止する自治体もありましたが、12自治体から163人が長崎に集まりました。



令和5年度 開催実績

実施日：8月8日

※台風6号の接近に伴い9日の活動は中止

参加者：12自治体 163人（長崎市含まず）

長崎市（青少年ピースボランティア）60人

5 平和学習発表会及び教材等配布

長崎市内の中学生が一堂に会し、日頃取り組んでいる平和学習の成果などの発表をとおして、各学校における生徒の平和への取り組みを発展させる機会とすることを目的に、平成18年度から実施しています。

市内の中学校30校から86人の生徒が参加。各学校での平和への取り組みについて発表し、意見を交わしました。また、市内で取り組まれている平和活動についても、青少年ピースボランティアから発表がありました。



令和5年度 開催実績

実施日：8月18日

また、市内小中学校の平和学習の機会を増やし、平和への願いを広めるため、副読本「平和ナガサキ」を作成し市内全小中学校に配布する他、平和学習の推進のために、被爆体験等を伝える紙芝居やDVDを増刷し、全国の希望者に配布しました。





4 育成事業

① 部会活動

【継承部会（部会員 31人）】

自らの被爆体験や平和への思いなどを、「被爆体験講話」として話しています（詳細は5ページ）。講話以外にも、部会内に事業班を作り、活動しています。

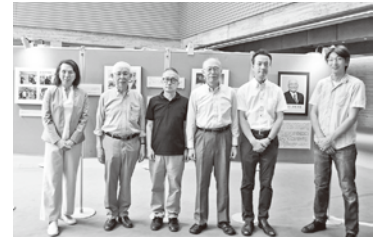
【国際交流部会（部会員 20人）】

毎月例会を実施し、主に外国の方を招いてお話ししていただいています。令和5年度は外国人から見た軍艦島の魅力、日系アメリカ三世の「道なき道」を歩く生き方、中国の若者の力強い未来志向の考え方など多岐にわたる話題で、多くの方に参加いただきました。



【写真資料調査部会（部会員 8人）】

原爆被災を記録した写真の収集・検証など、写真を通じた原爆被害の実相を伝える活動をしています。定期的に写真展を開催していて、令和5年度は7月24日から8月10日まで、「投下前のファットマンの前で作業する米軍兵士」などの写真約40点と、5月にご逝去された深堀好敏名誉部会長の功績を辿る展示が行われました。



【音楽部会（部会員 16人）】

音楽を通じて平和を訴えることを目的として活動しています。

令和5年度は8月に「いのちの灯をともしあう音楽で熱いエールを贈ります」をテーマとして「長崎平和音楽祭」を開催し大成功に終わりました。

10月の「市民のつどい」にも参加し、平和の歌の合唱で“心の安らぎ”や“楽しさ”“賑わい”を提供しました。



② 平和案内人の育成と派遣

「平和案内人」は、長崎原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等のガイドを行います。長崎原爆資料館正面玄関で待機する「常駐ガイド」、学校・個人・団体等から事前申し込みを受けての「資料館予約ガイド」「碑めぐりガイド」の3種類があり、第1～7期生140人が活動しています。

令和5年度は4年ぶりに育成講座を開講し、第8期生として36人が講座を修了しました。令和6年5月から活動を開始します。

◆令和5年度 活動実績

区分	申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延)
常駐ガイド	1,857件	6,238人	1,343人
資料館予約ガイド	70件	1,814人	222人
碑めぐりガイド	215件	7,835人	874人
合計	2,142件	15,887人	2,439人



◆令和5年度 全体会

6月25日 デジタルアーカイブを活用した被爆体験の継承活動
マナーアップ研修

講師：林田光弘
講師：東島真奈美

◆第8期 平和案内人育成講座

期間 11月25日～3月9日(全15回)
修了者 36人(応募者 44人)



3 国際青年平和交流事業

長崎県内の若者から「自分たちが考える国際・平和プログラム」をテーマに企画を募集し、その活動を支援するこの事業は、令和4年度から名称を変更し、募集対象や時期なども見直しを行いました。

令和5年度は、2団体を認定しました。

【令和5年度 認定事業】

活水高等学校 平和学習部 『食と平和とアート』

国内外の若者たちと平和について考え交流を深めるために、戦時中の食とアートをテーマにしたワークショップを開催しました。

長崎大学 学生国際NGO BOAT 『フィリピン スタディツアー』

貧困地域におけるボランティア活動などを通して、世界の貧困状況について身をもって学ぶとともに自分たちにできることを考えるため、フィリピンを訪問しました。

4 共催・協力・後援等事業

令和5年度 共催等事業

事業名	主催団体	開催期間	開催場所
第33回ながさき平和大会	核兵器廃絶地球市民長崎集会 実行委員会	7/2	長崎原爆資料館 ホール
第38回長崎平和音楽祭	長崎平和音楽祭実行委員会	8/5	長崎原爆資料館 ホール
長崎国際平和映画祭2023	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館	8/18・19	長崎原爆資料館 ホール／平和学習室
第15回～語り合おう in Nagasaki～ 外国人による日本語弁論大会	外国人による日本語弁論 大会実行委員会	10/14	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ

令和5年度 後援等事業

事業名	主催団体	開催期間	開催場所
KNOW NUKES FORUM	KNOW NUKES TOKYO	4/30	HYPERMIX門前仲町
第5回 ナガサキ 映画と朗読プロジェクト	ナガサキ 映画と朗読 プロジェクト実行委員会	7/22・23	長崎原爆資料館 ホール
国際平和シンポジウム2023 「核兵器廃絶への道」	広島市、広島平和文化センター、 朝日新聞社	7/29	広島国際会議場
第70回長崎原爆忌平和祈念俳句大会	第70回長崎原爆忌平和祈念 俳句大会実行委員会	8/5	長崎原爆資料館 平和学習室
第61回原爆忌文芸大会	NPO法人長崎国際文化協会	8/5	長崎ブリックホール ギャラリー他



事業名	主催団体	開催期間	開催場所
-結ぶproject- ニューヨーク平和祈念公演	一般社団法人 東京ビジュアルアーカイブス	8/5.8.9	NYセント・マルクス教会 NYジャパン・ソサエティ NY国連チャーチセンター
第5回長崎平和祈念茶会	長崎平和祈念茶会実行委員会	8/6	長崎原爆資料館 いこいの広場
国連80周年記念プロジェクト・ キックオフ in 長崎～「第九」演奏会	(株)LOCAL2 国連認定NPO Martial Arts Academy	8/6・7	長崎原爆資料館ホール チトセピアホール
創立20周年記念 「平和の祈り キッズゲルニカ in ながさき」 国際子ども平和壁画展	長崎親善人形の会(瓊子の会)	8/6～31	原爆落下中心地公園 下の川
被爆78年 連合2023平和ナガサキ集会	日本労働組合総連合会	8/8	長崎県立総合体育館
祈念館開館20周年記念事業 スーザン・サザード氏記念講演会 及び企画展	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館	講演会10/22 企画展10/22～11/18	長崎原爆資料館ホール 国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ
第45回 平和の使者クリスマスカードコンテスト	長崎YMCA、 長崎ワイズメンズクラブ	11/1～12/26	長崎YMCA 浜屋百貨店 西沢本店
開館20周年記念事業 「映像が語る原爆の記憶」	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館	R6.1/20～27	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ
神保町コレクティブ 第1回ワークショップ (能とダンスで学ぶ身体表現)	一般社団法人 東京ビジュアルアーカイブス	R6.3/16	専修大学
未来アクションフェス	未来アクションフェス 実行委員会	R6.3/24	国立競技場

5 秋月グラント

平成10年、当協会設立15周年を機に「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業などを行う団体や個人を助成してきました。

平成16年、協会の初代理事長である故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」と名称を改め、多くの方々に助成制度を利用していただけよう門戸を広げました。

令和5年度 秋月グラント事業助成状況

団体・個人名	事業名称	実施期間・場所
Studio One Nagasaki	継承フォトワークショップ	7月～12月 長崎市
7%erとなかまたち	障がい者が作る平和をテーマとした 紙袋制作・配布事業	8月～2月 長崎市
韓国・日本 原爆平和を語る会	韓国ソウルへ 原爆・平和を旅する	2月 韓国ソウル



II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（主な事業の紹介）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づいて平成15年に開館した「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の施設管理と事業運営を国から受託し、様々な事業を行っています。

原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

原爆死没者を追悼するとともに、永遠の平和を祈念するため、氏名・写真（遺影）を収集し、登録のうえ館内で公開しています。また、原爆死没者の氏名を記載した「原爆死没者名簿」を追悼空間に保管しています。

令和5年度は、長崎県・市と連携して、氏名・遺影の登録に取り組みました。

令和5年度実績：303人（累計10,872人）



追悼空間

被爆体験記などの収集・整理・公開

原爆の惨状を多くの人に伝えるため、被爆者が書かれた被爆体験に関する手記・日記・書簡や、遺族・友人らによる追悼記などを集めています。収集した被爆体験記は、遺影・手記閲覧室内の情報端末機器などで公開・展示しています。

令和5年度実績（体験記収集）：79人分（累計665人分）

企画展の開催

所蔵する被爆体験の中からテーマを定めて選出し、英語・韓国語・中国語に翻訳し、展示をします。

令和5年度は、祈念館開館20周年記念として、スーザン・サザード氏の講演会を実施し、同氏著書「ナガサキ 核戦争後の人生」で描かれた被爆者5人の被爆体験やその後の人生に焦点をあてた展示を行いました。あわせて、5人が被爆体験を語る様子を収めた証言ビデオも上映しました。



令和5年度実績：「LIFE AFTER NUCLEAR WAR」（10月22日～11月1日、11月7日～11月18日）

被爆体験記執筆補助

「被爆の記憶を体験記として残したいけれど、自分一人では文章にまとめられない」という被爆者の方を対象として、平成17年度から聞き取りと代筆を実施しています。

令和5年度実績（聞き取り）：26人（累計192人）

被爆者証言ビデオ等の制作

被爆の実相を後世に伝えていくために、被爆体験に係る証言ビデオを製作・収集し、館内で閲覧に供するほか、「グローバルネット」等で公開しています。

令和5年度実績：国内22人、海外1人（累計542人）

被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」育成・派遣

被爆体験記の朗読によって被爆体験を継承することを目的として、平成23年度から実施しています。

令和5年度は、常駐朗読・毎月9日開催の「9日を忘れない」を開催するとともに、祈念館開館20周年記念として、長崎県音楽連盟協力のもと、「朗読と音楽の調べ」を3回開催しました。また、市内の小中学校（計3校）に朗読指導を行うとともに、令和4年度より募集している若者朗読サポーターU-25も活動しています。

令和5年度実績：常駐朗読115日、派遣朗読53回、定期朗読会14回





家族・交流証言者等派遣

被爆の実相、平和への想いを次世代に語り継ぐため、平和30年度から「家族・交流証言者」および「被爆体験記朗読ボランティア」を全国へ無料で派遣しています。令和2年度からは「被爆者」の方の派遣を、令和5年度からは東京都国立市が養成した「原爆体験伝承者」の派遣も開始しました。

令和5年度実績：180件（被爆体験講話22件、家族・交流証言講話105件、被爆体験記朗読会37件、国立市9件、海外7件）

平和ボランティア育成外国語講座

原爆資料館や追悼平和祈念館などを外国語で案内するボランティアガイドを育成しています。

令和5年度実績（修了者）：英語8人、韓国語7人、中国語5人

ピースネットの実施

祈念館と遠隔地の学校や団体などとインターネット会議システムで結び、被爆体験講話等を実施しています。

令和5年度実績：27回（うち4回海外）

海外原爆展の開催

被爆の実相を広く世界に伝えるため、被爆60周年（平成17年度）から実施しています。

令和5年度は、令和4年度に引き続き、4月1日から4月28日まで米国ハワイ大学マノア校で、12月からジョージア（旧グルジア）のトビリシ市、バトゥミ市、シグナギ市の3か所巡回展を実施し、トビリシ市およびシグナギ市での開会式には職員が出席しました。被爆体験講話については、オンライン（2回）で実施しました。

令和5年度実績：米国・ホノルル市（ハワイ大学マノア校ハミルトン図書館） 4月1日～28日（3,154人来場）
 ジョージア・トビリシ市（イリア国立大学） 12月15日～令和6年2月1日（4,000人来場）
 ジョージア・バトゥミ市（バトゥミ国立大学） 令和6年2月4日～18日（200人来場）
 ジョージア・シグナギ市（シグナギ国立博物館） 令和6年2月27日～3月31日（998人来場）

若者による平和ネットワーク構築プログラム

アジアの若者による平和ネットワークの構築・拡大を目指し、平成22年度から実施しています。

令和4年度からは、対象国を拡大し、「若者による平和ネットワーク構築プログラム」と改称し、国内外の参加者を招いています。令和5年度は「Youth Conference in Nagasaki」を3日間に渡って開催し、この会議への参加をメインとしたネットワークプログラムを実施しました。

令和5年度実績：2月12日～17日 参加者：海外及び留学生、日本人学生26人

国際平和映画祭の開催

映画を通じて平和の大切さや被爆の継承について考える契機として、原爆や平和をテーマにした映画を上映します。

令和5年度は、学童クラブに呼びかけるなど夏休みに子供を対象として実施しました。3作品を上映したほか、平和かみしばいの上演や恐竜ポストカード作りのワークショップなどを開催しました。

令和5年度実績：8月18日～19日

上映作品「おまえうまそうだな」「えっちゃんのせんそう」「ブレッドウィナー」

「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化事業の実施

長崎大学核兵器廃絶センター（RECNA）に委託し、祈念館が所蔵する被爆者の体験記等をデジタル化し、学生向けの教材としてインターネットで国内外の大学に提供するなど、若い世代への被爆の実相を伝える取り組みを実施しました。

令和5年度は、「被爆前の長崎」の写真を活用した平和教育教材を3本制作しました。また、令和4年度に制作した「航空写真アーカイブ」を拡充し、これらの教材やアーカイブを活用したフィールドワークを実施しました。さらに「被爆前の日常アーカイブ」の英語版サイトを開設しました。

被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）

長崎大学医歯薬学総合研究科（原爆後障害医療研究所国際保健医療福祉学研究分野）の協力のもと、被ばく医療研究の成果として、高齢となる被爆者の健康維持に資する情報を親しみやすいテーマにして提供しています。

令和5年度実績：10回



Ⅲ 収益事業（図書など販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、原爆に関する書籍や平和グッズを作製し、原爆資料館の売店、協会Shopサイト、市内の書店で販売しています。

令和5年度には、前年度に発売し好評な「Peaceなねこ」シリーズ（Tシャツ、エコバッグ、クリアホルダー）に新たに「缶バッジ」を加えました。

協会Shopサイトではクレジットカードや電子マネーでの決済が可能です。



図書・グッズ販売ページ URL <https://www.peace-wing-n.or.jp/shop/>

【協会発行の出版物・オリジナル商品など取扱商品一覧】

- 書籍等
- 長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ
 - ながさき原爆の記録
 - 長崎原爆資料館 資料館見学・被爆地めぐり「平和学習」の手引書
 - ピーストークきみたちにつたえたい（くりかえすまいナガサキの体験）
 - ながさき平和学習ナビ（げんばくってなんだろう？）
 - 長崎原爆A to Z
 - ナガサキの記憶（中国語版）
 - 紙芝居「嘉代子桜」



Shopサイトは
コチラから

- グッズ
- 絵はがき（長崎原爆資料館）
 - おりがみ
 - 折り鶴ストラップ
 - キーホルダー
 - クリアホルダー（4色）
 - ピンバッジ
 - トートバッグ
 - マグネット
 - PeaceロゴTシャツ（3種）
 - ミニタオル（あじさい柄2色・折鶴柄2色）
 - ピースTシャツ
 - 「Peaceなねこ」シリーズ〔Tシャツ、エコバッグ、クリアホルダー、缶バッジ〕

理事・評議員・監事について

令和5年度（令和6年3月31日）

理事長	調 漸	評 議 員	池本 仁史	評 議 員	藤原 泰子
副理事長	升本 由美子	//	今村 美由起	//	船本 貴之
//	三根 眞理子	//	大矢 正人	//	本田 勝一郎
理 事	井上 琢治	//	貝淵 裕幸	//	前田 和信
//	岩満 由美	//	神崎 真一	//	前田 孝志
//	田中 重光	//	北野 健一郎	//	前田 徹
//	縄本 恵太	//	久保 純一	//	松尾 恵子
//	本田 魂	//	桑原 伸良	//	山口 俊男
//	真野 裕也	//	小淵 義輝	//	渡部 明
//	森 彩香	//	下田 智行	監 事	佐藤 宏文
//	山田 貴己	//	田中 聡	//	平井 聖士

<五十音順>



公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き

4月

- 9日 「9日を忘れない」朗読会（毎月9日開催）
- 13日 家族・交流証言定期講話（毎月第2木曜日開催）
- 18日 第1回 継承部会 総会
- 22日 青少年ピースボランティア オリエンテーション
- 23日 家族・交流証言定期講話（毎月第4日曜日開催）

5月

- 19日 監事監査
- 22日 第1回 三役会
- 26日 第1回 通常理事会

6月

- 16日 第1回 定時評議員会
- 16日 第2回 臨時理事会
- 16日 第1回 運営会議
- 25日 平和案内人全体会

7月

- 9日 被爆証言映像「8月9日の記憶」上映会
- 24日 被爆78年 ナガサキ原爆写真展（～8月10日）
- 26日 県外原爆・平和展（京都府福知山市）（～8月9日）

8月

- 1日 県外原爆・平和展（東京都千代田区）（～15日）
- 3日 県外原爆・平和展（埼玉県三郷市）（～16日）
- 5日 第38回 長崎平和音楽祭
- 8日 青少年ピースフォーラム（9日は台風のため中止）
- 18日 平和学習発表会
- 18日 長崎国際平和映画祭2023「子ども平和映画祭」（～19日）
- 26日 「ナガサキの郵便配達」朗読と音楽で紡ぐ平和への想い
- 30日 第2回 継承部会総会

9月

- 23日 平和の灯
- 23日 家族・交流証言交流会（～24日）
- 30日 ラウンジコンサート vol.1 「Music Garden Pray & Play」



9日を忘れない朗読会



家族・交流証言定期講話



長崎国際平和映画祭



「ナガサキの郵便配達」
朗読と音楽で紡ぐ平和への想い



10月

- 14日 外国人による日本語弁論大会
- 21日 ラウンジコンサート vol.2 「Music Garden Pray & Play」
- 22日 スーザン・サザード氏記念講演「ナガサキを語り継ぐ」
- 22日 被爆体験記企画展「LIFE AFTER NUCLEAR WAR」
(～11月18日)
- 28日 国連軍縮週間 市民のつどい



ジョージア原爆展

11月

- 3日 青少年ピースボランティア 広島研修 (～5日)
- 3日 森田孝子書道展「平和への願いを書に託して」(～7日)
- 5日 「継承フォトワークショップ」成果報告会
- 11日 国際交流のつどい
- 18日 ラウンジコンサート vol.3 「Music Garden Pray & Play」
- 25日 第8期 平和案内人育成講座 開講 (～3月9日)



メリッサ・パーク氏講演会

12月

- 2日 永遠の会 第1回「朗読と音楽の調べ」
- 15日 海外原爆展 (～令和6年3月31日・ジョージア)
- 23日 Winter Ring a Bell Concert ～愛と平和を長崎から～

1月

- 20日 映像展「映像が語る原爆の記憶」(～27日)
- 21日 ICAN事務局長 メリッサ・パーク氏 講演会

2月

- 3日 永遠の会 第2回「朗読と音楽の調べ」
- 10日 青少年ピースボランティア 福島研修 (～12日)
- 10日 国際交流のつどい
- 14日 Youth Conference in Nagasaki (～16日)



青少年ピースボランティア・福島研修

3月

- 2日 永遠の会 第3回「朗読と音楽の調べ」
- 3日 市民対象碑めぐり (継承部会)
- 13日 第2回 三役会
- 19日 第3回 通常理事会
- 21日 第3回 継承部会総会
- 23日 国際青年平和交流事業 発表審査会
- 23日 青少年ピースボランティア 県外研修報告会



市民対象碑めぐり

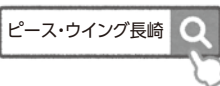


ピース・ウイング長崎
平和のあゆみ
(令和5年度 事業報告)

2024年5月発行

公益財団法人 長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>





V・ファーレン ピースサポーター

長崎平和推進協会SNS



ウェブサイト



公式LINE



PEACE_WING0809

公式Instagram



公式YouTube

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



核兵器廃絶と世界恒久平和を目指して活動を続けている当協会では、SDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」に取り組み、みんなが安心して参加できる平和な社会を作るべく、活動していきます。